

失敗事例と成功事例に学ぶITの効果と限界

— 多品種少量生産におけるヒューマンエラー防止、コスト削減 —

食品企業は多品種少量生産に対応しながら、コスト削減、リードタイムの短縮、ヒューマンエラーの防止、品質管理との連携が必要となっています。その解決策として情報通信技術（IT）の活用が叫ばれていますが、パッケージソフトの応用だけでは限界があります。

今回のセミナーでは、生産管理部門を中心にIT導入の失敗事例と成功事例を詳説し、多品種少量生産への対応、ヒューマンエラー防止に向けた取り組みを各企業の実践に役立つように講演していただきます。さらに、いつものように皆様方からいただいた質問にそってコスト削減、ヒューマンエラーの防止について解決策をまとめます。

日時：平成21年9月18日（金）13時00分～16時30分（受付開始：12時30分）

会場：東京八重洲ホール（東京都中央区日本橋3-4-13）※地図裏面

受講料：1万5,000円（税込み）※食品製造・品質研究会会員は無料

第1部：講演1 [13:00～14:10]

テーマ：「失敗事例に学ぶIT導入」

講師：情報システム株式会社 常務取締役 大谷淳一 氏

- ① IT導入の失敗事例とその共通点
- ② パッケージソフト、システム会社の選定基準
- ③ 自社内の業務とITの整合性

◆◆◆ 休憩（10分間） ◆◆◆

第2部：講演2 [14:20～15:20]

テーマ：「生産管理にビジネスソフトで取り組む」

講師：株式会社新進 経営企画室 井桁力 氏

- ① 社内改善活動におけるIT導入の背景
- ② 社内の業務の把握とITの活用
- ③ エクセル、アクセス活用での展開

◆◆◆ 休憩（10分間） ◆◆◆

第3部：Q&Aセッション [15:30～16:30]（最大延長16:50まで）

（事前質問票にもとづいた講師と受講者によるディスカッション）

多品種少量生産への対応、IT導入でのお悩み、疑問点に答えます。

進行：食品製造・品質研究会 事務局長（伊藤哲朗）

主催 日本食糧新聞社 食品製造・品質研究会

事務局：中山・大川・合志（ゴウシ）・伊藤 TEL03-3432-4664 携帯 090・3146・7995

セミナー情報：<http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>

